

特定非営利活動法人多摩源流 こすげ（小菅村）

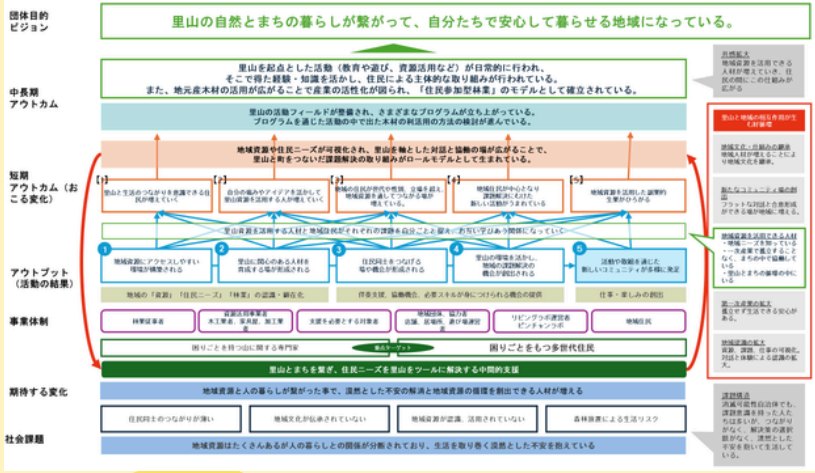
「一宿一助」で地域と人がつながる、新しい滞在のかたち

多摩源流こすげは、村民にアンケートを実施しながら、「一宿一助の宿・結」の活用に向けての修繕などをおこなっています。

村民アンケートは過去に何回も行われていますが、今時点で村の住民がどう感じているのかがわかる大切なものです。宿の活動と絡めた取り組みを考えて



一宿一助の宿となる予定の旧古家旅館
近くに、役場や郵便局もある場所です



いくべく、皆さんの意見や困りごとなどを丁寧に分析しながら作業を進めています。事前評価のロジックモデルでは、団体目的ビジョンを「次世代に誇れる源流文化を灯し続ける」として、1/2村民へのかかわりについて来年度からさらに活動を広げていってほしいです。

特定非営利活動法人みんなの街 （北杜市）

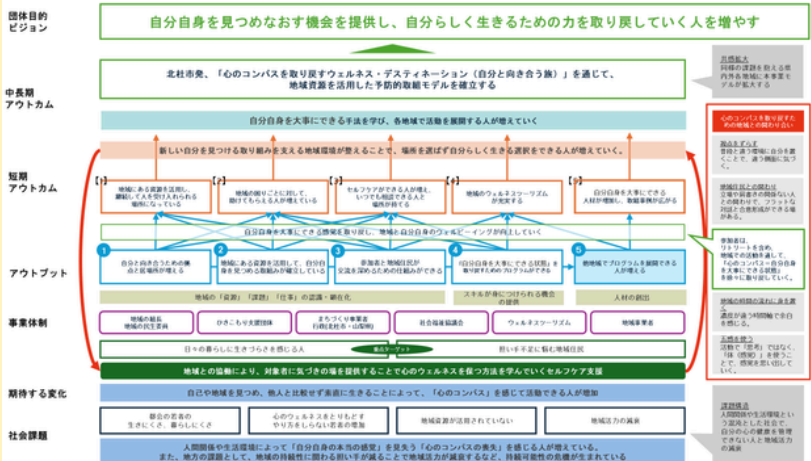
“生きづらさと担い手不足、双方を支える
ウェルネス拠点づくり



参加者で建てている小屋（居場所）の様子
工夫を繰り返しながら建てているそうです

みんなの街が活動する明野町は、首都圏から車で2時間でアクセスできるという「首都圏から利便性が高い地域」ということを活かしながら事業を進めています。現在、拠点づくりのために参加者と小屋を2棟建設しており、参加者は実験的な実行と失敗を繰り返しながら作業に取り組んでいます。また地域の困りごとを洗い出し、どのような地域の担い手不足に連携していけばよいのか、どんな他団体と協力していけばよいのかを検討していきます。

事前評価のロジックモデルでは、団体目的ビジョンを「自分自身を見つめなおす機会を提供し、自分らしく生きるための力を取り戻していく人を増やす」とし、団体の思いをなるべく言語化するように、POとともに事業に向き合っています。



GIBIER FACTORY合同会社 (道志村)

ジビエを通じて、山から街へ広がる
資源循環モデル

道志村に **日本初のトレーラー型ジビエ解体施設登場!!**

お披露目会
日にち: 2026年1月24日(土)
時間: 10:00~夕方まで
場所: 道の駅どうし (駐車場特設会場)

10:00~ 出羽村長挨拶・テープカット
10:30~ ジビエ解体トレーラー見学 (※人数制限あり)
※見学は夕方まで随時できます。

道志村小学校の給食でも提供されるようになりました。道の駅で解れた鹿肉。その肉の精製加工、商品化までできるジビエ解体施設「ジビエ解体トレーラー」が道の駅どうしに登場します。お披露目当日は、どなたでも見学できますので、是非いらしてください。温かいジビエ料理も用意してお待ちしております。

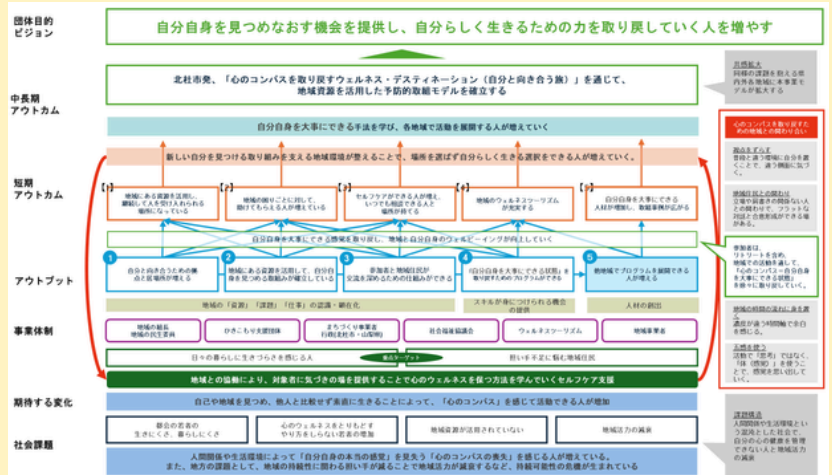
温か〜いジビエ料理ふるまいます!

解体された鹿



GIBIER FACTORY(ジビエファクトリー)合同会社は、大きな施設を建設しなくともジビエを鮮度を保ったまま処理できる、トレーラー型のジビエ解体車を購入しました。解体車は、道の駅どうしでお披露目をされ、たくさんの方に見ていただき、ジビエ料理も振舞われています。また、村内の連携をより深めるべく、村・猟友会・道の駅などと協議会を立ち上げていく予定です。

下流域である横浜市では、ジビエのイベントも行っています。道志村と横浜市は、同じ水の恩恵を受けていると思うと、その水で育った植物や動物の環境について考える機会にもなりそうですね。また、事前評価のロジックモデルでは、団体目的ビジョンを「源流域の循環のなかで、豊かさを紡いでいける地域社会」とし、団体が向かっていくアウトカムについてさらに議論が行われました。



休眠預金活用事業のご紹介

休眠預金活用事業の内容が気になって、「自分も休眠預金活用事業の活動に参加したい!」「休眠預金活用事業をやってみたい!」と思ったかたもいらっしゃるかと思います。そんな方には、JANPIA(一般財団法人日本民間公益活動連携機構)のこのホームページをご紹介します!

「自分も休眠預金活用事業の活動に参加したい!」

休イベントページ

<https://www.kyuplat.com/event/>



「休眠預金活用事業をやってみたい!」

「どんな事業があるのか興味がある!」

情報公開サイトページ

<https://johokoukai.janpia.or.jp/>

